

「省エネルギー学習会」					
会議年月日	2021年12月3日	時間	13:30 ~ 15:30	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	高花、高橋、石垣、下田、横田、難波、吉永、増永、平手(記)ZOOM不調で失礼しました。				
議 題					
12月度「省エネルギー学習会」を開催した。					
1. テーマ: 「人口問題と金融リテラシー ~老後に向けての経済的自立~」					
2. 講師: 高花富夫(元金融・証券インストラクター)					
3. 内容					
1) 世界人口の増加がもたらす問題 ①食糧・水不足⇒約9%が飢餓状態 ②エネルギー・資源不足					
③地球温暖化などの自然環境問題⇒生命維持の限度を超えた人口急増 ④貧困の拡大					
- 問題解決策 SDGs 2030年まで持続可能な世界を目指す17の国際目標と169のターゲット					
2) 日本は人口減少時代に入る⇒少子高齢化がもたらす影響と課題 ①社会保障制度の老朽化で、社会給付の増大、財源の確保、世代間の公平性等 ②経済の停滞による財政悪化が強まる⇒日本の財政債務残高1216兆円(2020年度末)対GDP比264%と先進国の中で突出。					
3) 人生100年時代到来(英国学者リンダ・グラットン)⇒政府に依存しない経済的自立の必要性高まる⇒「老後2000万円」金融審議会2019年発表⇒平均余命による老後夫婦の家庭収支の紹介⇒老後に備えたお金の育て方(資産形成)⇒金融リテラシーの普及活動					
4) お金の育て方(資産形成)の基礎知識⇒貯蓄と投資の基本的考え方⇒預貯金では、お金は働いてくれない(マイナス金利の時代)⇒日銀統計による日・米・欧州の金融資産構成⇒日本は預金に54%、米国13%、欧州34%。一方金融商品は、日本14%、米国51%、欧州30% ⇒結果は、金融資産の増加に大きな差(20年で米国約3倍に対して日本は1.4倍)⇒日本は国民に税制優遇制度(NISA)2014年に導入して個人投資家を増やそうしている					
5) 金融商品でお金に働いてもらう⇒預貯金と違い元本保証でないのでリスクを自分で負担する⇒リスクとリターンの関係を知る ⇒ リスク(ブレ幅)を低減して確実なリターンを得る⇒「一つの籠にタマゴを盛るな」⇒資産・地域の分散、時間の分散(積立投資)の実践、それに加えて長期保有、⇒長期保有は10年以上(複利の効果)⇒コストは低いものを選択する					
6) 国際分散、長期積立投資を行うには、コストの低いインデックス型の投資信託が最適商品となる⇒グローバル化の時代なので国際分散を考える ⇒ 投資の王道で、①長期投資②国際分散投資③積立投資④低コストでお金を育てる ⇒ 投資の王道による目標は年率6~7%のリターン					
7) 「お金」と「幸せ」を生み出す五つの黄金法則 ①収入の十分の一以上を貯える②黄金(お金)に稼げる勤め先を見つけてやる③優れた専門家の助言に、熱心に耳をかたむける④自分が出来ない商いには手を出さない⑤常識外れの利益は求めない、また甘い誘惑には乗らない					
※お金があれば幸せか⇒生活に困るほど、お金のない人は不幸であるが、お金だけでは幸せにはなれない。人と人のつながりを持つことが、家族と社会的なつながりを大切に(バビロン大富豪の教え)					